

美空 ~MISORA~ 第199号

発行日:2026年2月27日
発行者:NPO 法人 電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田 昇

目次 INDEX

- ・活動報告
東京理事会・合同理事会 …… 1
- ・NPO 無電柱ネット 2026 活動方針 …… 2
- ・第13回全国技術委員会 OSAKA 結果報告 …… 5
- ・5月以降のシンポジウム・展示会の案内
北海道フォーラム, 東京シンポ, 無電柱化推進展 …… 13

特定非営利活動法人
電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

【活動報告】

2026年2月12日(木)17:00~17:30 東京理事会

会場:住友林業会議室 M-6 WEB: Cisco Webex
参加者:9名

1. 本日(2/12)の東京活動委員会の予定確認
2. 2026 東京支部活動方針について
 - ・大阪の勉強会では、昼間(15時~16時45分)に開催して、自治体関係者が参加したりしている。昼間の開催を検討してもいいかもしれない(井上事務局長)
3. 無電柱化シンポジウム inTOKYO の企画案について
 - ・現在、6/3(水)・6/4(木)で調整中。2月末頃までに決定したい。
 - ・会場は新橋駅付近で仮押さえ中。
 - ・協賛展示・資料封入協賛を予定している。
 - ・会場 100名~120名を目標。WEB参加あり。
4. 無電柱化推進展の展開について
5. 次回予定
 - ・3/12(木) 東京理事会:17:00~、合同理事会:17:30~ WEBのみ

【活動報告】

2026年2月12日(木)17:30~18:00 合同理事会

会場:住友林業会議室 M-6 WEB: Cisco Webex
参加者:9名

1. 事務局報告
 - 2/5(木) 内閣府防災計画担当参事官と意見交換会
 - ・防災国体、10/17(土)・18(日)に鳥取県倉吉市で開催。「防災に無電柱化は必要」を主眼にしたパネル展示は是非協力したい。
 - 展示の規模感・具体的な内容を確認した上で進めたい。
 - 2/6(金) 第13回全国技術委員会 OSAKA
 - 次期無電柱化推進計画(骨子案)の説明
 - ゾーン30プラスの説明と意見交換
 - 2/12(木) 東京理事会・合同理事会・東京活動委員会
 - 3/12(木) 東京理事会・合同理事会
 - 3/13(金) 国交省、令和7年度第3回面整備事業における無電柱化推進WG



2/6開催、第13回全国技術委員会 OSAKAの様子

- 4/10(金) 第14回全国技術委員会 OSAKA
- 4/16(木) 東京理事会・合同理事会・東京活動委員会
- 5/14(木) 無電柱化北海道フォーラム 2026
- 6/3(水)か4(木) 無電柱化推進シンポジウム inTOKYO
 - ※6月に沖縄離島対象の無電柱化セミナー(予定)
- 6/11(木) 無電柱化を推進する市区町村長の会 令和8年度定期総会
- 6/19(金) NPO社員総会、総会セミナー
大阪市立総合生涯学習センター5階第1研修室
- 7/15(水)~17(金) 第14回無電柱化推進展 東京ビッグサイト
2. 2026年度 NPO 活動方針について
3. 各支部活動方針について
4. 北海道フォーラム 2026 の進捗について
5. 無電柱化推進シンポジウム inTOKYO の企画案について(井上事務局長)
 - ・協賛展示、資料封入協賛を募りたい。
6. 無電柱化推進展の展開について
 - ・2ブース、早期割引で申込
 - ・協賛展示のお願いはこれからしていく。
7. 総会セミナーについて
 - ・日程は6/19(金)、大阪市立総合生涯学習センター5階第1研修室で決定。
 - ・講師候補を検討する。
8. 次回予定
(前段の東京理事会に記載)

NPO法人電線のない街づくり 支援ネットワーク 2026年度 活動方針



特定非営利活動法人
電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

はじめに

2年前の能登半島地震からの復興がいまだに終わらずに新年を迎えることとなりますが、約1万8千人が未だに仮設住宅で暮らす（「日本経済新聞」2025.12.31）など、多くの方が日常生活を取り戻していない状態です。更には首都直下地震の被害状態についての恐るべき報告がされています。もちろん南海トラフ地震や千島・日本海溝巨大地震による津波被害も近い将来に発生する恐れが大いにあります。

それに対し、国では防災対策が政策としてこれまで以上に強化される動きがあり、「防災庁」発足（2026年末発足予定）などの動きがあります。

今年4月よりスタートする第9期無電柱化推進計画にも緊急輸送道路の無電柱化を最優先するなど、国土強靱化に努める方針を掲げています。

今こそ、私たちが過去の体験から学んだ教訓をどのように今後の取り組みに生かすべきかについてさらに具体化することも欠かせないことではないかと思えます。

一昨年より進めている低コストに関わる輪荷重の緩和も具体的なかたちとして国交省に提案する状況まで実を結んできています。この提案は、今期の無電柱化推進計画で掲げられている無電柱化による良好な歩行空間の確保の際の低コスト化に影響するものと思われる。

最小限の役割である伝建地区の無電柱化も思い通りに進んでいるとは言えない状況です。

これからの一年は、それらについて地域との連携を一層強めながら会員・関係者の皆様とともに良い成果があげられるように努めていきたいと思えます。

理事長 高田 昇

2026年度スローガン

「無電柱化は喫緊の社会課題であることをしっかり情報発信していく」

「地域や現場に応じた最適な無電柱化アクションプランをすみずみまで」を掲げます。

1. 無電柱化の目的と意義を改めて考え、しっかり情報発信する

1) 防災重視の方針をかかげる

- ・無電柱化は災害時における道路や通信網の確保、避難経路の整備、災害時の迅速な対応に貢献します。医療機関・拠点の電源・通信の確保、近年増加している木密地域での火災への迅速な対応などが可能となり、人命の救助に大きな役割を果たします。
- ・関係機関から提供いただいた情報の発信や、それに基づくシンポジウムや展示会などのイベントは、会員のみならず、無電柱化関係者や、更に一般市民にも無電柱化のよさを理解していただく絶好の機会となります。これらのイベントに触れる機会を増やし、当 NPO のファンを増やす努力・工夫をする。
- ・2024年の元旦に発生した能登半島沖地震の調査で、地中に埋設された配管は、破損することなく、通電していることが国土交通省の調査で分かった。
- ・1995年の1月17日に発生した阪神・淡路大震災でも地中線の被災率は架空線に比べて極めて低いことが分かっている（架空線の被災率 2.4%に比べ、地中線は 0.03%）。

- ・また地震や台風・竜巻が発生するたびに電柱が倒壊し、電線が断線し、停電がおこる。倒壊した電柱・電線類は緊急輸送の妨げになり、一刻を争う人命救助や火災現場に向かう緊急車両の道をふさぐ。
- ・防災強化の観点からも緊急輸送道路を中心とした無電柱化推進を全国規模で訴えていきたい。

2) 狭隘道路や住民が多く住む地域(ラストワンマイル)の無電柱化推進をはかる

- ・次期無電柱化推進計画(骨子案)では、面整備での無電柱化の強化(新設電柱の抑制)や無電柱化による良好な歩行空間の確保に努める方針を掲げている。
- ・防災重視の観点から、緊急輸送道路での無電柱化は進みつつあるが、住宅地などの面整備での無電柱化は、狭隘な道路が多いという施工面での難しさや、費用が要請者の負担になる場合が多いこと、補助金申請の際の手続きの煩雑さから、電柱の増加が止まらない。住民が多く住む地域(ラストワンマイル)の無電柱化が進んでこそ無電柱化の目的が果たせたと言えるのではないか。
- ・電柱が減るところか増え続けている現状に NPO の立場から低コストにつながる規制緩和を検証・提案し、ストップをかけていきたい。

3) 景観面での無電柱化を支援・促進する

- ・全国の国立公園・景観地区で、電柱・電線が美しい景観を損なう場面への問題提起や、インバウンドの復活と共にオーバーツーリズム対策や「日本の原風景」へのニーズに対応できる無電柱化を促進するといった動きを強める。
- ・「日本の原風景」には、重伝建地区・伝建地区が多くを占めている。これらの景観保護に無電柱化が果たす役割は大きい。監督官庁は文化庁であることに留意して、連携をとりながら進めていく。

2. 無電柱化推進のための連携を強化する

1) 電線管理者との連携強化を図る

- ・無電柱化に関する課題解決には、電線管理者との協力が不可欠である。電線管理者との連携をさらに強化し、全国規模での協力を促進していく。当 NPO が主催するシンポジウム・セミナー・勉強会などに関係者が参加していただけるよう努めたい。

2) 引き続き国・自治体・行政機関との連携を強化していく

- ・自治体が無電柱化の事例を求めている状況に対応するため、成功事例を紹介し、地域ごとの導入促進を支援していきたい。国土交通省や他の行政機関とも連携し、自治体担当者の一助となるようなセミナーや勉強会(東京活動委員会、全国技術委員会 OSAKA)で情報の発信を行う。
- ・特に、無電柱化を推進する市区町村長の会と一般財団法人日本みち研究所とは、セミナー・勉強会・情報共有等で引き続き連携していく。
- ・今年度は特に次期無電柱化推進計画の発出の年なので、情報の提供を惜しまず、一緒になって取り組んでいきたい。

3) 今後発足する予定の防災庁と連携をし、防災面で無電柱化が効果的であることを内外に広める

- ・防災には、事前防災と事後対応の2点の重要な要素がある。無電柱化事業は、前者の事前防災において大きな役割を果たす。当 NPO 法人は、防災における無電柱化の効果を今年新たに発足する防災庁とともに世論に訴えていきたい。

3. 規制緩和と新技術・工法の工夫を提案する

1) 民間技術の導入と支援を行う

- ・民間技術の積極的な導入を支援し、規制緩和や新技術の提案を行うことで、技術革新を促進する。

2) 現行制度の検証とそれに伴う改善提案(規制緩和)をしていく

- ・直接現場に関わる民間の立場を活かして、国の部会でも議論が進められている現行制度に関して、更に課題を抽出し、検証を行い、国に積極的に改善提案をする。

民間側溝配管規制の緩和提案 側溝配管の規制緩和を提案し、狹隘道路などの無電柱化の推進に寄与する。事例紹介の材料も引き続き収集し、情報提供する。

T-25 規制緩和と耐荷重検証 T-25 規制緩和提案とともに、小型 BOX (T-14) の耐荷重についての検証を行い、効率的で安全な工法の導入を提案する。

軽量化とコスト削減 新しい軽量で持ち運びやすい樹脂製の製品を導入し、狹隘道路での無電柱化を可能できるかを検証する。工事期間を短縮し、自治体や関係者の関心を引く。

地上機器設置交渉の改善 現行の試験掘り→電力会社→交渉というプロセスにおける改善を図り、工事の遅延を防ぎ、コスト削減を進める。

昼間の常設作業帯の好事例 昼間の常設作業帯の成功事例を紹介し、増やしていくことが重要。これにより、無電柱化の作業がスムーズに進むことを実証する。

※夏場においては、夜間工事のほうが効率的な場合があるなど、現場の意見を反映させたい。

4. 「無電柱化の日」などで無電柱化の普及活動に努めるとともに、NPO 内の組織強化もはかる

1) 民間事例紹介や小学生向け出前授業など無電柱化の普及活動に努める

- ・「無電柱化の日」を利用した普及活動を国や自治体と連携しながら実施する。
- ・見附市、先斗町、東海市、睦沢町、佐久市、矢掛町、福知山市などでの事例を整理し、検証した上で、低コスト化への課題を解明し、国や関係機関とも綿密に連携して情報交換して、低コスト化手法の普及・拡大に努める。
- ・当 NPO から提案した会員企業の技術が認められ、普及しつつあるが、それをさらによりよい方法で進めていく。

2) 新規メーカーの参入促進をはかるとともに、個人も含めた会員サービスの充実も検討する

- ・現在、当 NPO には、無電柱化の推進に賛同いただいている個人のほか、無電柱化に関わるメーカー、施工関連業者、コンサル、ハウスメーカー、その他関連部品・部材メーカーなど多岐にわたっているが、更に無電柱化に間接的に関わる快適なまちづくりに寄与する企業にも声をかけて、会員拡大につなげる(無電柱化に賛同いただける企業・個人への会員拡大)。
- ・対面で実施するセミナーやシンポジウムの開催により、企業間・個人間のコミュニケーションがとれる土壌をつくる。

3) 新規会員を増やすとともに、NPO 内での組織強化もはかる

- ・今後の NPO に求められていることは、大きな問題への対応と同時に身近な地域への取組み、地域との連携を強めることが何よりも大切になってくるものと思われる。商店街や地域団体さらには地域自治体との情報交換や連携を地道に続け、強化することが現実的で、その積み重ねがより大きな動きにつながるものとする。
- ・それには、私たちの組織体制・人材の強化が求められる。



正会員/首長会会員限定 **2/6(金)開催**
第13回 15:00~16:45
全国技術委員会OSAKA
 次期無電柱化推進計画(骨子案)から
 無電柱化の課題や提案を考えよう!
 大阪市立総合生涯学習センター 5階第7研修室

本勉強会の動画案内 (ユ-チューブ限定公開)

- 1 次期無電柱化推進計画骨子案の解説
 <https://youtu.be/NthfQ6hVpHo>
- 2 ゾーン 30 プラスの無電柱化と未抜柱対策
 <https://youtu.be/og0OB0XpvkA>
- 3 事務局報告 次年度に向けた技術検討テーマ
 <https://youtu.be/SLD79vjoP14>

2月6日(金)に大阪本部主催で、第13回全国技術委員会 OSAKA が開催されました。

場所:大阪市立総合生涯学習センター、5階第7研修室 参加者:会場 15名・WEB9名(申込含む)

◆当日のスケジュール◆

- | | | |
|-----------------------------|------------|-------------|
| 1. 荒関本部長より | | 15:00~15:10 |
| 2. 次期無電柱化推進計画骨子案から低コスト提案を探る | | |
| 次期無電柱化推進計画骨子案の概要説明 | 事務局:塚田 | 15:10~15:25 |
| ゾーン 30 & 未抜柱問題について考える | 井上了理事、佐伯理事 | 15:25~16:10 |
| ※参加者との意見交換をはかりたいと思います。 | | |
| 3. 次年度に向けての技術検討テーマ | 井上事務局長 | 16:10~16:35 |
| 4. 事務局報告 | 井上事務局長 | 16:35~16:45 |

次期無電柱化推進計画骨子案の概要説明 ……NPO 無電柱ネット事務局:塚田……

今年の5月に公表される予定の国交省の次期(第9期)無電柱化推進計画の骨子案が昨年12月に発出された。その内容とポイントを発表した。

1. 無電柱化の推進に関する基本的な方針

1. 取り組み姿勢

- ・これまで以上に積極的に取り組み、電柱は増やさず、確実に減らす
- 特に、緊急輸送道路については無電柱化を加速化する。
- ・地域や現場の実情に応じて、多様な整備手法を活用する。
- 徹底したコスト削減を推進し、限られた予算で無電柱化延長を延ばす。
- ・事業の更なるスピードアップを図る。

2. 適切な役割分担

- ・無電柱化の目的に応じ、適切な役割分担のもと、関係機関が連携して無電柱化を推進する。

(防災・強靱化目的)

- ・市街地の緊急輸送道路など道路の閉塞防止を目的とする区間 → 道路管理者が主体的に実施!
- ・長期停電や通信障害の防止を目的とする区間、占有者が一者で電線共同溝方式が困難な区間 → 電線管理者が主体的に実施!

(交通安全、景観形成・観光振興目的)

- ・安全・円滑な交通確保を目的とする区間、景観形成・観光振興を目的とする区間 → 地域の関係者が協同して面的な対策を計画するなど、道路管理者、地方公共団体が主体的に実施!

・道路事業、市街地開発事業等が実施される場合 →道路管理者、電線管理者及び関係する事業者が連携して実施！

3. 無電柱化の手法

(事業手法) 電線共同溝方式、自治体管路方式、要請者負担方式、単独地中化方式

(構造形式) 管路直接埋設、小型ボックス、屋側配線、迂回配線、ケーブル直接埋設、地上配線、側溝配線

2. 無電柱化推進計画の期間

2026年度から2030年度までの5年間

手法と形式がごっちゃになっていたのを、きちんと整理した

巨大地震に対する防災対策は30年間の中長期的な計画で進める

3. 無電柱化の推進に関する目標

① 防災

市街地の緊急輸送道路など道路の閉塞防止を目的とす区間、電力や通信のレジリエンス強化の観点で必要な区間

[指標] 道路啓開の観点から優先的に整備する区間の無電柱化整備完了率

道路啓開の観点から優先的に整備する区間の無電柱化計画策定率

市街地等の第一次緊急輸送道路の無電柱化整備完了率

市街地等の第一次緊急輸送道路の無電柱化計画策定率

着手が目的ではなく、
完了(抜柱まで)が大事！
更に計画策定も大事！
完了率となると、相当厳しいか？

② 安全・円滑な交通確保

バリアフリー法に基づく特定道路、通学路 等

[指標] 特定道路における無電柱化計画策定率

ゾーン30プラス区域内の通学路における無電柱化計画策定数

狭隘道路で無電柱化が難しいところをあえて入れている！

③ 景観形成・観光振興

世界遺産周辺、重要伝統建造物群保存地区 等

[指標] 世界文化遺産周辺の無電柱化計画策定地区数

重要伝統的建造物群保存地区の無電柱化計画策定地区数

歴史まちづくり計画における重点区域の無電柱化計画策定区域数

以上の目標を達成するため、電線管理者が単独地中化で実施する。

※指標・延長は算出中

【注目】現状から考えて、電力会社が必要以上の目標を立ててくれるとは考えづらいか！

そのほか、市街地開発事業等における無電柱化を進める。

切迫する巨大地震へ備えるため、30年程度の中長期目標を定め、無電柱化を推進。

本計画で定めた目標値を踏まえて、レベニューキャップ制度の第二規制期間の無電柱化の目標値を策定

4. 無電柱化の推進に関し総合的かつ計画的に講ずる施策

1. 緊急輸送道路の電柱を減少

・「第1次国土強靱化実施中期計画」により緊急輸送道路の無電柱化を推進

・高速道路ICから広域防災拠点間を結ぶ路線など、道路啓開の観点から優先的に整備する区間の無電柱化を推進

・道路閉塞のリスクを取り除くため、電線共同溝の事業中区間は原則として既設電柱の占用制限を指定

・沿道民地の電柱について、道路啓開の観点から優先的に整備する区間において、電線共同溝や、要請者負担方式、単独地中化など多様な手法を用いて無電柱化を進めるほか、沿道区域届出勧告制度を積極的に活用方

2. 新設電柱の抑制

・道路事業・市街地開発事業等の実施に際し、電柱新設の原則禁止の徹底を図るとともに、市街地開発事業等において、施工事例等を整理した各種ガイドライン等の策定・更新や、地方公共団体における無電柱化推進の取組を収集・横展開等により、事業に合わせた無電柱化を 着実に推進

3. コスト縮減の推進

・新たな整備手法や施工現場の改善等に関わる知見を踏まえ、「コスト縮減の手引き」を改訂し、普及促進を図る。
・効率的に無電柱化を推進するため、屋側配線や迂回配線、地上配線や側溝配線など、地域の実情を踏まえた多様な整備手法を活用し、ピンポイントで電柱を撤去することも含め、地域の協力を得て推進

・宅地開発で整備される道路の規模・性質も踏まえた宅地開発用の設備設計マニュアル等を策定

4. 事業のスピードアップ

・包括発注等の契約手続き、調整方法等をまとめた手引きを作成し、地方公共団体への講習等を通じて、普及促進

5. 占用制限の拡大

・交通安全の観点で、バリアフリー法に基づく特定道路や通学路等での新設電柱の占用制限を拡大

・既設電柱の撤去を加速するため、事業中区間においては原則として既設電柱の占用制限を指定（再掲）

6. 点検及び維持管理

・埼玉県八潮市における道路陥没事故を踏まえ、電柱などの占用物件の安全性や維持管理の状況を定期的に確認

・電柱の老朽化の状況も踏まえて無電柱化を検討するなど効率的に無電柱化に取り組む

5. 無電柱化の推進に関する施策を総合的、計画的かつ迅速に推進するために必要な事項

1. 広報・啓発活動

2. 地方公共団体への技術的支援

3. フォローアップ

左の次項に対して、当 NPO が関わる役割は極めて大きい。一般市民への啓発（無電柱化に対する理解と協力）、自治体・電線管理者との連携、無電柱化低コスト提案を会員企業や関連機関、大学の先生と進めていく。

◎ 現行計画(R3～R7)の進捗状況

◎ 次期計画の (1)現状 と (2)今後の方針案

については、下記リンクの発表資料 p.3～p.9 を参照下さい。

<https://nponpc.net/wp-content/uploads/2026/01/f93db7b22e80aa856d287a6230a30cf0.pdf>

丁寧にまとめました。是非ご覧になって下さい。

ガンバって
まとめました！



骨子案を見ての考察（個人的見解）

・「防災」を目的とした緊急輸送道路の無電柱化を積極的に行う方針を打ち出している。

・緊急輸送道路の無電柱化以外に、「良好な歩行空間の確保」を目的とした無電柱化も強調している。

・緊急輸送道路の無電柱化でさえ、「計画の段階や、管路工事のみの状態でとどまっています、肝心の電柱抜柱(完了)までに至っていない。

・無電柱化が進んでいない現状とそれに対する解決の指針・方針までは、示しているものの、「抜本的な解決を示すまでに至っていない。

・「電柱を増やさない」具体的な解決策までは見出せていない。

→無電柱化が進まない理由の一つとして「民地に踏み込めない→新設電柱の抜け道になっている。

→「電柱の未抜柱が多い。特に近畿地方」という検証が示されているものの、その原因と解決策が示されていない。

・電線共同溝での無電柱化はしつつも、「電線管理者による単独地中化を促す方向」を示している。

・コスト削減の方策として、「浅層埋設→低コスト管路材の採用」を示しているが、それ以外での製品コストが見出せず、「新規参入が難しい状態」になっている。

・上記以外の規制緩和策を見出して、新規参入をはかりたい。

1. ゾーン30の無電柱化

ゾーン30プラスとは

ゾーン30プラスとは、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進を図るため、最高速度30キロ毎時の区域規制と、狭さくやスラローム等の物理的デバイスの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域のことをいい、**警察と道路管理者が連携して全国的に整備を進めているもの**



1. ゾーン30の無電柱化

物理的デバイスの例

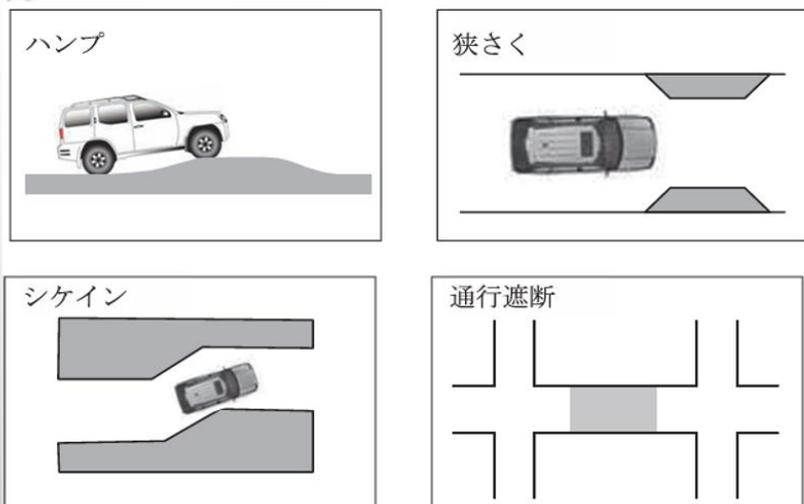


図 2.1.1.1 主な物理的デバイスの形状 (道路区間)



上記写真は、平成29年8月に豊中市泉原町付近に設置されたハンプ



車の速度を落とさせるのが目的

「次期無電柱化推進計画」の取り組みの中に ゾーン30 プラスの無電柱化 が加わっていることは、私たち NPO にとっては、非常に興味深いです。

現在の無電柱化は、緊急輸送道路を中心に電線共同溝方式で無電柱化していくというのが主流となっていますが、次期無電柱化推進計画では、緊急輸送道路だけでなく ゾーン30・ゾーン30 プラスという狭隘なエリアでの無電柱化を見据えた政策です。

1. ゾーン30の無電柱化

ゾーン30およびゾーン30プラスの整備箇所

ゾーン30: 全国4410か所
(令和6年末)

ゾーン30プラス: 全国263か所
(令和7年末)

[生活道路の交通安全対策ポータル - 国土交通省](https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/syokai-jirei.html)



<https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/syokai-jirei.html>

↑リンクをクリックで確認!(全国網羅)↑

159	滋賀県	栗東市	治田西地区
160	京都府	京都市	春日野・日野地区 (令和6年政令第2号)
161	京都府	京都市	上里・石見地区
162	京都府	舞鶴市	桃山町地区
163	京都府	城端市	青谷地区 (令和6年政令第2号)
164	京都府	向日市	寺戸地区 (令和6年政令第2号)
165	京都府	久御山町	珠城地区
166	大阪府	大阪市	江戸堀1丁目地区 (令和6年政令第2号)
167	大阪府	大阪市	十三東地区 (令和6年政令第2号)
168	大阪府	豊中市	東豊中町6丁目地区
169	大阪府	枚方市	伊加賀地区
170	兵庫県	姫路市	城北地区
171	兵庫県	明石市	王子1丁目、北王子町地区
172	兵庫県	明石市	大迫町2丁目、朝町1丁目地区
173	兵庫県	播磨町	北本荘1丁目、4丁目地区
174	奈良県	奈良市	奈良女子大学周辺地区
175	奈良県	大和高田市	松塚地区
176	奈良県	田原本町	八尾地区

ゾーン30およびゾーン30プラスの指定箇所が、意外と多いことが初めて分かりました。

上記の道路を無電柱化するには、施工の際の住民理解や新技術・新製品の開発が必須となるはずですね!

1. ゾーン30の無電柱化

問題点



この写真を見て、皆さん、お気づきになりましたか?

左の写真は、通学路ですが、電柱が占拠しています。

しかも本来側溝が流れるところに電柱が占拠して建っているところに問題があります。

右の写真はほんとによく見る光景ですね!

狭隘な道路にそびえ立つ電柱は児童を車道にはじき出し、危険な状況を作っています。

特に学童は集団登校するので左に大きくはみ出してしまいます。

1. ゾーン30の無電柱化

対策事例

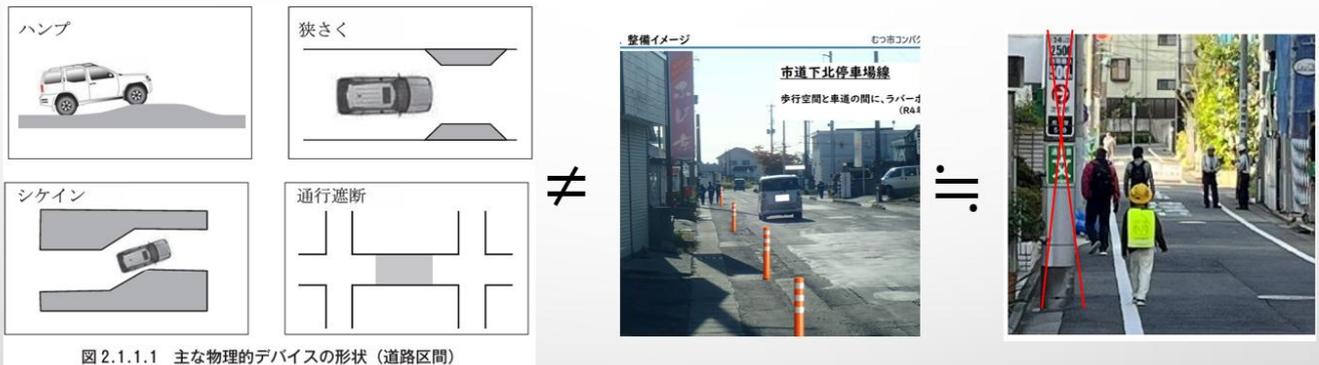


図 2.1.1.1 主な物理的デバイスの形状 (道路区間)

無電柱化は、「車の速度を落とす」という対策ではないが、歩行者の安全を守る意味で**通行帯分離の一環**と考える？

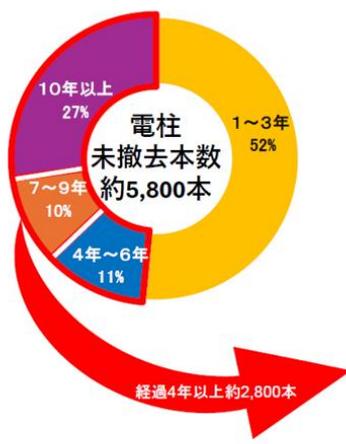
ゾーン 30 の無電柱化に関して、具体的な対応策が国から出されるかと思いますが、狭隘道路での無電柱化施工には、通行止めや騒音などによる住民への理解、電線管理者の協力などの他に、警察との連携も重要となってきます。

スピーディかつ簡便で低コストでの無電柱化が要求される中、当 NPO が果たす役割は大きい。

2. 未抜柱対策

- 道路管理者が管路整備後、電線管理者により入線・電柱撤去作業を実施するが、関係者間の調整、合意形成が難航しており、電柱撤去までに時間を要する事例がある。
- 道路管理者・電線管理者が協力し、早期の電柱撤去を進めるとともに、電柱撤去の迅速化に向けた取り組みが必要。

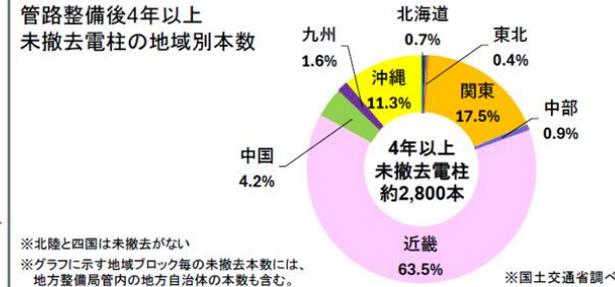
■電柱未撤去の経過年数 (R6年度末時点)



■入線・電柱撤去の流れ



管路整備後4年以上未撤去電柱の地域別本数



※北陸と四国は未撤去がない
※グラフに示す地域ブロック毎の未撤去本数には、地方整備局管内の地方自治体の本数も含む。

なぜか近畿において未抜柱が多い。

参加者から施工の際、入線が終わると、道路管理者・電線管理者の手が離れて、責任の所在があいまいになっているのではという意見をいただいた。民間の請負であれば、抜柱までしっかりみるので、未抜柱のまま残ることは、あまりないそうだが、NPO からもこの問題を追っかけていきたい。

次期無電柱化推進計画で謳われている無電柱化整備完了率・無電柱化計画策定率の効果に期待したい。

「ENJOY EXPO」～万博記念公園エリアの地域情報サイト

<https://osaka1shop2channel.jp/>

【吹田】ようやくすれ違いが可能に！？JR岸辺駅そばの市道
岸辺南1号線で道路の拡幅工事が行われています！

2024年12月16日

JR京都市「岸辺」駅南口に隣接する市道で改良工事が行われています。



吹田市によれば、市道に隣接する民有地を取得し、道路を拡幅した上で道路片側に歩道を設置する改良工事を行なっているとのこと。現地に掲示されたお知らせによれば、工事の期間は2025年3月14日までとなっていました。

歩道もない危険な道路でしたが、改良工後は歩行者も車も利用しやすい道に変わりそうです。



拡幅後のイメージもできるぐらい工事は進んでいましたが、電柱の移設も必要となりそうなので、開通まではもう少し時間がかかりそうな感じです。

開通時期などがわかりましたら改めてお伝えしたいと思います。

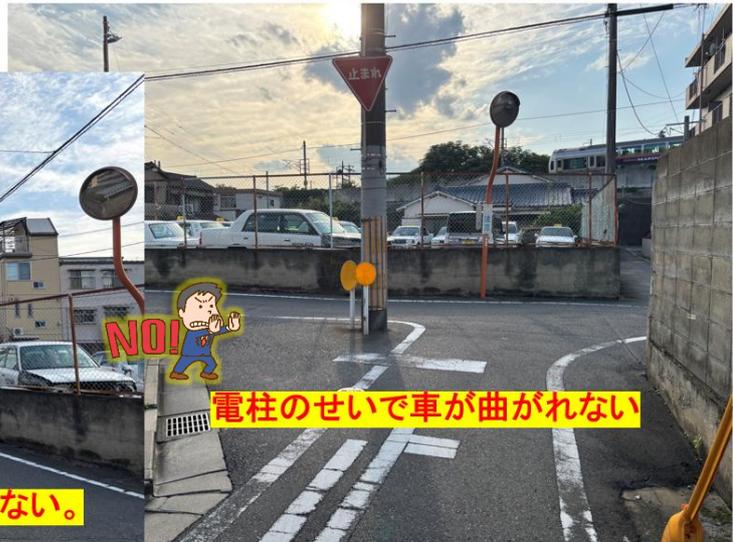


人も車両も安全にはなったが2025年9月現在電柱に変化なし。
電柱がある事で工事等のコストが上がったと推測できるが、
岸辺駅の場合は車道と歩道が分離されて安全になった。

・・・道路の拡幅が為されても電柱の為に拡幅の意味が無い
場所も存在する



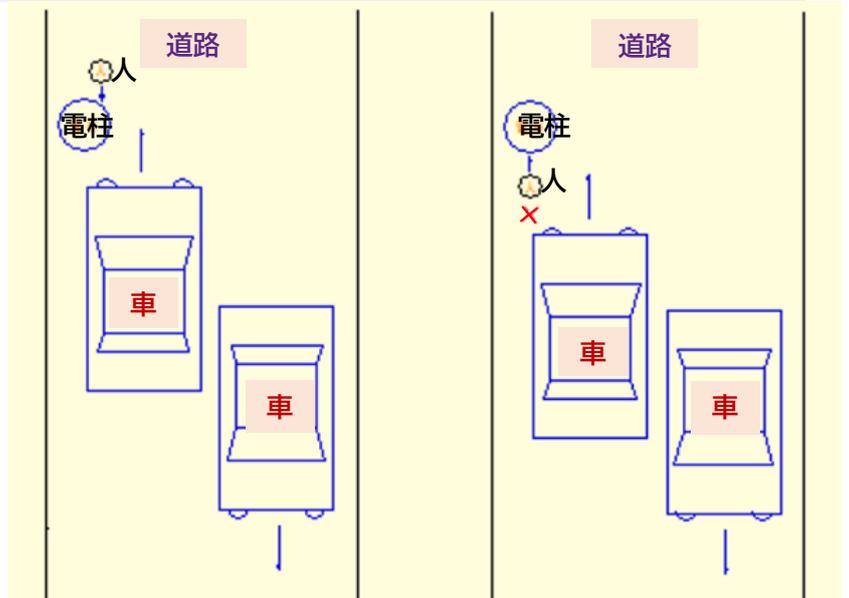
電柱のせいで車のすれ違いができない。



電柱のせいで車が曲がれない

電柱が道路上にあってはいけない理由

現在全国各地でローカル駅の駅前道路の拡幅整備が行われていますが、高い予算を確保して用地買収を行い、拡幅するよりも（仮設構造物である）電柱の撤去をする事で、限られた予算で人も車も安全に通行できる様に目指してはどうでしょうか？
同時に大型トレーラー等が入らない道路の設置埋設物の荷重緩和（T-8等）も行えば、相乗効果的に低コストでのインフラの整備が可能と思われれます。



無電柱化 北海道フォーラム 2026

参加費
無料

※申込み不要
※入退出自由

北海道沿岸地域の 津波避難対策としての無電柱化の推進

～千島・日本海溝巨大地震と津波災害への備えとして～

開催日時

2026年5月14日(木)
14:00～17:30

開催場所

かでのホール
かでの2・7 北海道立道民活動センター
札幌市中央区北2条西7丁目

※公益社団法人 土木学会 CPDプログラム認定

第一部 基調講演

災害から命を守るデジタル技術の利活用

臼田 裕一郎 氏
国立研究開発法人防災科学技術研究所
総合防災情報センター長

第9期無電柱化推進計画の概要

山本 清二 氏
国土交通省
北海道開発局 道路維持課長

NPOのHPでの、当フォーラムの案内
・参加申込のQRコードです。

第二部 パネルディスカッション

あきらめない避難、あきらめさせない社会へ

～海辺のまちで“助かる”を当たり前にするために 避難経路の確保と命を守る無電柱化～

コーディネーター



鍵屋 一 氏

(一社)福祉防災コミュニティ協会
代表理事



浅野 幸子 氏

減災と男女共同参画
研修推進センター 共同代表



湯井 恵美子 氏

防災企業連合 関西そなえ隊
幹事



萩原 亨 氏

(一財)北海道道路管理技術センター
顧問

主催：NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク 北海道支部

共催(仮)：(一財)北海道道路管理技術センター / (一財)北海道建設技術センター / (一社)北海道開発技術センター

後援(仮)：内閣府 / (国交省)北海道開発局 / (国交省)北海道運輸局 / (公社)土木学会 / (国研)土木研究所 寒地土木研究所

(公社)日本技術士会 北海道支部 / (一社)北海道建設業協会 / (一財)みち研究所 / (一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部
北海道 / 札幌市 / 自治体 / 自治体 / NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク 本部

協賛(仮)：(一社)日本風呂敷文化協会 (順不同)

無電柱化推進シンポジウム in TOKYO

特定非営利活動法人
電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

WEB参加OK!
(Cisco Webex 運営)

テーマ

無電柱化は新しいフェーズへ!
「～災害対応の一丁目一番地～」

【基調講演】第9期無電柱化推進計画を検証する(仮)

放送大学教授・当NPO副理事長 松原隆一郎

2026年6月3日(水) 14:00～17:00

銀座ユニーク貸会議室7丁目店 N-201号室

東京都中央区銀座7丁目13-15



MAP

東京銀座の街

基調講演

パネルディスカッション



松原隆一郎
東京大学大学院教授を経て、放送大学教授。当NPO副理事長



屋井鉄雄
東京工業大学名誉教授。運輸総合研究所所長。元アジア交通学会会長



松尾崇
神奈川県鎌倉市長。無電柱化を推進する市区町村長の会会長



大庭哲治
京都大学大学院工学研究科教授。国土交通省無電柱化推進技術検討会委員



新留裕也
一般社団法人送配電網協議会工務部副部長



井上利一
ジオリゾーム代表。国交省民間SWG主査。当NPO理事兼事務局長

■ 当日のスケジュール(予定)

- 14:00 開会の挨拶 当NPO東京支部支部長 北村 良
- 《第1部 講演》
- 14:05 ①第9期無電柱化推進計画の概要説明
国土交通省道路局環境安全・防災課 課長補佐 藤井久暢
- 14:25 ②首都直下地震と無電柱化
内閣府 政策統括官(防災担当)付参事官(防災計画担当) 駒田義誌
- 14:45 【基調講演】第9期無電柱化推進計画を検証する(仮)
放送大学教授・当NPO副理事長 松原隆一郎
- 15:10～15:30 *** 休憩・協賛展示見学 ***
- 《第2部 パネルディスカッション》
- 15:30 テーマ:第9期無電柱化推進計画で何が変わるのか(仮題)
- 16:55 当NPOからのお知らせ 当NPO理事・事務局局長 井上利一
- 17:00 閉会

- ◆参加費: 無料 (一般のかたも参加可)
- ◆交流会: 会費未定 (会員のみ)
- ◆資料代: 1,000円 (データ渡し)
- ◆主催・お問い合わせ

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク
TEL:06-6381-4000 FAX:06-6381-3999
<https://nponpc.net>
事務局 (塚田) nponpc.t@gmail.com

- ◆主催◆
NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク

- ◆後援◆
一般財団法人日本みち研究所
国土交通省 道路局
NPO法人「日本で最も美しい村」連合
無電柱化を推進する市区町村長の会

QRコードで参加申込できます



お名前	所属先	メール先	会場・WEB	交流会
		@	会場・WEB	参加 <input type="checkbox"/> 不参加 <input type="checkbox"/>
		@	会場・WEB	参加 <input type="checkbox"/> 不参加 <input type="checkbox"/>
		@	会場・WEB	参加 <input type="checkbox"/> 不参加 <input type="checkbox"/>

第14回

低コストで実現する、新しい街づくり。無電柱化に関する商材に特化した専門展示会



無電柱化推進展

会期 2026. **7.15** WED (水) → **17** FRI (金)

会場 東京ビッグサイト 東展示棟

無電柱化推進展に出展しませんか？

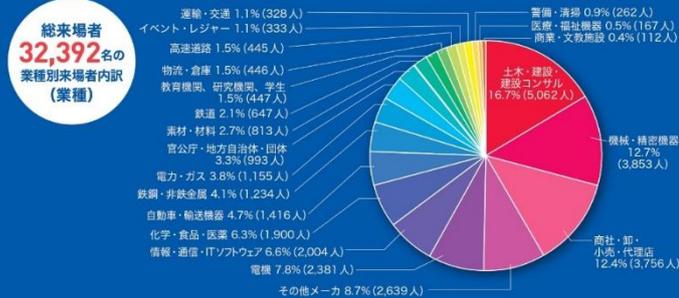
これまで無電柱化は、防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成の観点から実施されてきましたが、近年、災害の激甚化・頻発化、あるいは高齢者の増加等により、その必要性が高まっています。特に、近年の台風や豪雨等の災害では、倒木や飛来物起因の電柱倒壊による停電並びに通信障害が長期間に及びケースも報告されており、電力や通信のレジリエンス強化も求められているところです。そのような背景のもと、電柱のない街づくりを推進する技術・サービスを発信する専門展示会として本展を開催します。

無電柱化推進展の特徴

- 1 日本で唯一、「無電柱化」に特化した展示会**
無電柱化に特化した日本で唯一の B to B 専門展示会です。
- 2 総称「メンテナンス・レジリエンス2026」の構成展示会として開催**
12の専門展示会が集まる「メンテナンス・レジリエンス2026」の中での開催により、相互に関連のある建設・製造業の約32,000名を超える方が一堂に会します(予定)
- 3 質の高い来場者**
2025年開催の「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2025」の総来場者32,392名中、課長以上の役職の方の割合が40%を超えています! 決定権のある方に会えるチャンスです



メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2025 来場業種



無電柱化に特化した 専門展示会

詳細を
ご希望の方は
裏面より
お問い合わせください

主催 JMA 一般社団法人日本能率協会



当 NPO では、主催者である(一社)日本能率協会様と協力して、7/15(水)~17(金)に開催される無電柱化推進展の情報を随時発信していきます!

上のQRコードから読み取って下さい。



NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワークの会員募集

私たちはこの NPO の活動を通して、日本の街に美しい空を取り戻したい、災害に強く、安全安心で住み良い街にしたい。そして“美しい国”を子ども達に残したい。そういった想いのもと、日本の街を電柱や電線の無い、安全安心で、美しい景観の街にするために、街づくりを行うすべての機関(不動産・デベロッパー・行政等)を支援していきます。NPO 法人「電線のない街づくり支援ネットワーク」の活動目的に賛同し、支援して下さる方、電線のない街(電線類地中化)を創りたい・子供たちにきれいな空を残したい・街づくりに興味のある個人・企業様を募集しています。ご推薦も是非お願い致します!

会員募集のページ

<https://nponpc.net/%e4%bc%9a%e5%93%a1%e5%8b%9f%e9%9b%86/>